

第3回 ごみ処理センター建設適地選定委員会議事録 抄録

平成18年11月17日(金)午後1時30分～2時50分 津山市役所 2階 第2委員会室

出席者委員 : 委員長 花村哲也(学識) ・ 副委員長 森住明弘(学識)
(12名) 土屋 充(学識)
岡本英二(地域代表;美咲) ・ 岡本良市(地域代表;勝央)
神原吉男(地域代表;西粟倉) ・ 坂本道治(地域代表;津山)
中村一富(地域代表;美作) ・ 松原 晃(地域代表;奈義)
山崎克己(地域代表;鏡野)
安東伸昭(公募) ・ 浦島文男(公募)

事務局 : 吉田室長・仁木参与・上高参事・山口主幹・西村主任
美作県民局(早瀬・上原)
津山市、美作市、勝央町、奈義町、鏡野町、美咲町

- ・ 開会
- ・ 委員長挨拶

事務局;報告事項(1)第2回委員会について、資料『委員会議事録抄録』および『ごみ排出量等資料』を説明。

委員長;報告事項について意見あるか。

(意見なし)～承認～

続いて協議事項だが、選定要件のたたき台について、事務局に確認しながら最終的に委員長と副委員長で、とりあえず(案)という形でまとめた。これについて意見を伺いたい。いくつか応募が出てきた時に最終的に絞り込んでいくが、点数化できるものは点数化するという考え方であり、選定要件項目として次のとおりまとめた。

- ・ まちづくり、地域活性化の構想、意欲についての考え方はどうか
- ・ 排出責任として、収集運搬費用はどうか
- ・ 早期建設の可能性について、地域理解、用地確保、規制解除の状況はどうか
- ・ 土地取得費用、造成・道路等のインフラ整備、周辺整備にかかる費用はどうか
- ・ 周辺への影響等について、学校・病院等の施設が近くにあるかどうか、交通量はどうか
- ・ 地形・地質について、構造物の安全性、水質の保全への影響はどうか
- ・ 過去の土地利用の状況はどうか

以上、正副委員長で考えた。今日は、この内容について議論していただき、最終的には次回に決定していきたい。意見をお願いする。

委員;地元理解の関係で、1月末までに総会決議が必要としているが、これは申請段階でクリアしておくべきものではないか。仮に適地とされても総会決議で否決となれば白紙に戻る。

委員長;公募期間が9月15日から12月15日までであり、その間で総会が開催できない地域があるのではないかとことから1月末までとした。

副委員長;何ヶ所か出てきた場合数ヶ所に絞り込むのだが、最終的には3月までということでは時間的に余裕があり、また、応募要件に総会決議について記載していないということもある。

委員;公募締切りが12月15日だが、例えば総会決議が必要との公表はいつになるか。

委員長;地元には出来るだけ早く伝えるのが望ましいと考えるがどうか。

委員；期限が12月15日だが、それまでに全てを整えておくべきであり、総会決議を1月末までになどと言っていては延び延びになってしまう。公募とは、地元地域の理解・地権者同意が全て整った上で申請してくるものとする。

事務局；期間が3ヶ月間というのは厳しいと思っておられる地域もあるように聞いている。いくつかは正月早々が総会という話も聞いており、年末に向けての臨時総会開催については微妙という地域もあった。

委員；1月末までに総会決議されるのであればいいが、そうならない場合は同じことになる。通るか通らないかわからないものを待つよりは、既にあるものを優先的に検討を進めるべきだ。

副委員長；その点については、1月末までに総会決議されない場合は失格になることをきちんと伝えればいい。

委員；かなりの面積の土地が必要だが、農振区域等土地利用に係る規制がある上、収集運搬距離を加味した場合、希望する最適な土地を選定することは非常に困難かと思う。

委員；候補地があるのであれば問題ない。無かったときに考えればよい。

委員；資料に添付している共産党議員団からの提言については、どのように取り扱うのか。

委員；事務局で検討すればいいことであり、この委員会で協議すべきものではない。

事務局；これについては、前回の委員会で質問があり、今回の委員会で配付する旨説明したことから、参考資料として添付したものである。

委員；採点する際に、まちづくり・地域活性化について、提出書類だけでは判断が困難と思う。候補地を三点くらいに絞り込めばいいと思うが、それらにプレゼンしてもらってはどうか。

委員長；今の件は選定要件の審議の後で議論をする。

委員；評価の方法として点数方式がいいと思う。

委員；地元の評価（まちづくりの考え方）が一番最後でいいのではないか。他の項目で評価されなければ、いくら構想や意欲があっても難しい。五分五分のときに判断材料になるものだ。

委員長；採点方式だが、配点がこれで妥当か不明であり、とりあえず数ヶ所に絞り込んで、その後さらに精査したいと考える。

委員；配点については、委員会内部資料として取り扱うべきで、公になれば混乱するのではないか。

委員長；通常は評価点数を公にしたうえで公募するもの。

委員；点数を表示しないで、項目だけでも公開してはどうか。

委員；既に公募をかけており、途中からこうしたものを公開すると、余計に地元が混乱しておかしくなると思う。配点については委員会内部のものとする方がいい。本来、既に申請があってもおかしくない。

副委員長；締め切り前はどうかと思うが、締め切り後は公表すべきと考える。

委員長；公募要件に明示していないので、委員会内の資料とする。ただし、公募締め切り後は公表する。

事務局；参考だが、選定要件各欄の印については公募要領にある表現であり、大きく逸脱しているものではない。

副委員長；地形の問題だが、埋立地と焼却施設の評価を分けて考えてはどうか。埋立地は谷が深い方が長年月埋められるからよい。一方で焼却施設は平坦地がよい。併せ持った土地が高い評点となるように項目を分けてはどうか。

委員長；最終的には費用面での評価手段がある。日本では多くの場所で谷地形に処分場を整備している。

委員；今の段階はこの案を基礎に検討するののものであり、いろいろ考えればいい。

委員長；次回委員会を12月19日に予定しており、そこで選定要件を決定したい。不足している

項目、配点基準など、意見あれば12月8日までに事務局へ連絡してもらいたい。基本的には次回に決める。

委員；例えばこの案で考えた場合、事務局として思い浮かぶ場所があるか。

事務局；東北地域のどこから出てこうした内容で評価が出来ると考える。

委員長；最終的に建設する必要がある中で、制約要素があるのか、まちづくりを含めて地元の熱意、積極性はどうか等について評価することになる。

委員；採点方法は決めているか。

委員長；それも含めて審議してもらいたい。

委員；評価に困るほど出て来ないのではないか。行政が一生懸命努力して20年も取り組んで未だ決まっていない状況だ。心配しなくてもいい。

委員長；ただ今の意見も含め次回に決めたいが、現在考えているのは、事務局及び正副委員長を中心に評点（案）を作成しそれを審議するやり方、委員個々が評点するやり方があり、次回決めたい。

委員；候補地だが、2市4町1村のエリアであれば何処でもいいのか。

事務局；公募は2市4町1村で行っており、その中であれば何処から応募していただいてもいい。

委員；例えば、最適地がエリアの端であったとしてもそこに決めるのか。

委員長；それは事務局ではなく委員会で決めることだが、委員会のみなさんが、候補地が1つしかなくしかもエリアの端であった場合でも、そこがOKとなれば決まりです。

委員；例えば、そうしたエリアの端に建設した場合、圏外へ持ち出して処分する費用より運営費等が高くなったとしても、そこにするのか。

委員長；ブロック協議会としては基本的には早く場所を決めて次の作業に移りたいという意向があることから、委員会としてはできるだけそうした考えに対応したい。しかし、その場所ではどうしても難しいという結論が出るのであれば、それもひとつの結論である。

委員；私の質問の趣旨は、費用負担が増大するかもしれない地域を、委員会が選定すること自体難しいのではないかとということだ。反対意見が出て収拾がつかなくなる虞がある。やはり、津山が一番多くごみを出すのだから、運搬費用を考えて大まかにどの辺りまでなどと決めておいた方がいいのではないか。

委員長；今の意見は排出責任の項目にあるが、配点の差を大きくするなどが考えられる。

委員；この項目が低い評価であっても、他の項目が優れていれば選定されるのではないか。

副委員長；今のような意見を12月8日までに連絡していただきたい。

委員長；それでは、このたたき台を基に進めて行きたい。8日までに事務局へ意見あれば連絡してもらい、19日に決定したい。選定要件については、委員会内部資料として取扱い、評価した段階で公表するをしたい。

委員；この場で回収してはどうか。

委員；必要なければ置いて帰ればいい。

副委員長；これは評価基準であり、誰が考えてもこういうものになる。特に秘密にする事項でない。

県民局；12月15日が提出期限であり、評点はそれ以降に決定されるものとなる。たたき台は現時点での（案）ということで検討すればいいのではないか。

委員長；多数意見があるが、持ち帰り検討される方はそのようにしてもらいたい。スケジュールだが、1月末までに地元町内会の総会決議を確認、委員会を開催し候補地を3地区程度に絞り込み精査する。現地確認等行いながら、必要に応じプレゼンや住民の話を聞く場を設けることも検討したい。3月半ばを目途に選定できるようにしたいがどうか。

（よろしい）～確認～

事務局；事務的なことだが、土地関係一覧表については事務局で内容を確認するため、次々回については1月中旬以降の開催でお願いしたい。

委員；開催は1月20日以降にお願いしたい。

委員長；それでは、次々回を1月20日以降に開催ということで調整願う。その他意見あるか。

委員；設備のことだが、発電や余熱利用について、地元地域に分配するような考え方はどうか。

事務局；焼却施設については精査が必要だが、連続運転で燃焼し、焼却エネルギーで発電を考えている。他施設を見た場合、170t規模では施設内で使用できるくらいの発電となり、電力が余るのは夜間と思われる。また、余熱利用による温水なども活用したい。さらにリサイクルについては、分別し資源化できるものは最大限使用できるようにするための施設や、環境問題について学習する施設などを整備したい。最終処分場については、焼却灰を直接埋め立てないよう灰溶融などを検討し、埋立量の減容化を図りたい。

委員長；表にないが評価すべきものが出た場合についてだが、事前に評価項目が作成できればいいが、事前にできない場合でも予備欄を用意しておき加除するやり方もある。

委員；熱を再利用するのであれば、やはり密集したところでないといけないのか。

委員；心配しなくても、密集したところからは出てこない。

副委員長；170t規模であれば、電力の大半を施設内で使用してしまうため地元供給は無理。特に最近では、高温で溶かして有害物質が出ないようにするため、それにエネルギーが必要なため残念ながら施設外には出ない。利用できるのはお湯の部分で、例えばハウスに利用しているところもある。お湯を地域に配るのは、配管が大変であり実例がない。

委員長；今の件は、例えば点数化し備考欄に特徴を記入するなどの手法がある。次回を12月19日に開催し選定要件について決定したいがどうか。

(よろしい)～確認～

事務局；12月8日までに意見あれば事務局へお願いする。ありがとうございました。

以上(2:50終了)